

平成29年 第4回宇都宮市教育委員会会議録

- 1 日時 平成29年3月21日(火) 開始時刻 午後1時30分
- 2 場所 宇都宮市役所13階 教育委員室
- 3 出席者 水越教育長, 大場委員, 伊藤委員, 山田委員, 清島委員
- 4 説明員 篠塚教育次長, 小堀学校教育担当次長, 梓澤教育企画課長, 増淵総務担当主幹, 神谷学校管理課長, 栗原学校教育課長, 大島学校健康課長, 大久保生涯学習課長, 伊藤中央図書館長, 松本文化課長, 阿部スポーツ振興課長, 小林教育センター所長
- 5 書記 大出課長補佐, 小島総務担当副主幹, 田上係長, 横塚係長, 大毛主事
- 6 傍聴者 1名
- 7 議題
 - (1) 審議事項
 - 議案第8号 宇都宮市教育委員会公印規則の一部改正
 - 議案第9号 宇都宮市教育委員会の組織及び運営に関する規則の一部改正
 - 議案第10号 教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部改正
 - 議案第11号 「宇都宮市教育委員会人材育成基本方針」について
 - 議案第12号 職員の人事について
 - 議案第13号 宇都宮市生涯学習センター条例施行規則の一部改正
 - (2) 協議事項
 - 協議第1号 平成29年度教育委員会基本方針(案)について
 - (3) 報告事項
 - 報告第13号 平成29年3月議会一般質問の概要について
 - 報告第14号 教育行政相談の内容と対応について
 - 報告第15号 平成28年度宇都宮市「学習内容定着度調査」及び「学習と生活についてのアンケート」の結果概要について
 - 報告第16号 平成30年宇都宮市成人式について
 - (3) その他
 - ① 平成28年度における全国規模組織等による被表彰校について
 - ② CSR学校応援ハンドブックの改訂について
 - ③ 機動班業務一部委託化について
 - ④ 平成28年度宇都宮市学校教育問題対策専門委員会の結果について
 - ⑤ 平成28年度第3回生涯学習センター運営審議会の結果について
 - ⑥ 宇都宮市視聴覚ライブラリー運営委員会の結果について
 - ⑦ 子どもの家等保護者負担金の一部助成について

8 議事の内容

- 教育長 それでは、ただいまから平成29年第4回宇都宮市教育委員会を開会します。
会議録署名委員の指名 大場委員，清島委員
- 教育長 第2回，第3回教育委員会の会議録についてご意見などありますか。
- (特になし，全員了承)
- 教育長 それでは，第2回会議録は伊藤委員，山田委員に，第3回会議録は山田委員，
清島委員に署名をお願いいたします。(会議録に署名)
- 教育長 議案第12号，協議第1号及び報告第14号は，「職員の人事に関するもの」，「意
思形成過程にあるもの」及び「個人情報が含まれているもの」であるため，非公
開としてよろしいでしょうか。
- (全員賛成)
- 教育長 全員賛成ですので，これらにつきましては非公開といたします。
- 教育長 それでは，審議事項に入ります。
- 議案第8号 宇都宮市教育委員会公印規則の一部改正について説明願います。
- 教育企画課長 **【説明要旨】**
○ 公印の管理について，現在の教育企画課による一括管理から，各課管理へ変
更することに伴い，規則の一部を改正する。
- 教育長 説明が終わりましたが，質疑などありますか。(特になし)
このとおり決定してよろしいか。(全員了承)
それでは，議案第8号を決定いたします。
- 教育長 議案第9号 宇都宮市教育委員会の組織及び運営に関する規則の一部改正につ
いて説明願います。
- 教育企画課長 **【説明要旨】**
○ スポーツ振興課に国体準備室を置くことから，規則の一部を改正する。
- 教育長 説明が終わりましたが，質疑などありますか。(特になし)
このとおり決定してよろしいか。(全員了承)
それでは，議案第9号を決定いたします。

教育長	議案第10号 教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部改正について説明願います。
教育企画課長	【説明要旨】 ○ 上河内地域自治センター及び河内地域自治センターが地区市民センターとなることから、規則の一部を改正する。
教育長	説明が終わりましたが、質疑などありますか。(特になし) このとおり決定してよろしいか。(全員了承) それでは、議案第10号を決定いたします。
教育長	議案第11号 「宇都宮市教育委員会人材育成基本方針」について説明願います。
教育企画課長	【説明要旨】 ○ 本市職員が「行政のプロフェッショナル」として行動できるよう策定された「宇都宮市人材育成基本方針」において、「各部局は市基本方針を踏まえた部局の人材育成方針を策定すること。」とされていることから、教育委員会の人材育成に係る基本方針を策定する。 ○ 以下の3点を特徴としている。 ・ 「宇都宮市人材育成基本方針」を踏まえて、これまでの教育委員会研修方針の内容を盛り込んだ総合的な人材育成に係る基本方針とした。 ・ 事務職や教育関係職のみならず、非常勤嘱託員や再任用職員、指定管理者など、本市教育委員会に所属するすべての職員(県費負担教職員は参考扱い)を対象とした。 ※ 県費負担教職員の人材育成基本方針については、教育センターにおいて「宇都宮市教職員人材育成システム」を策定している。 ・ 職種(事務職や教育関係職、栄養士等)別に、現状と課題、求められる能力、育成方針を整理し定めている。
教育長	説明が終わりましたが、質疑などありますか。(特になし) このとおり決定してよろしいか。(全員了承) それでは、議案第11号を決定いたします。
教育長	議案第13号 宇都宮市生涯学習センター条例施行規則の一部改正について説明願います。
生涯学習課長	【説明要旨】 ○ 平成29年度の機構改革に伴い、上河内地域自治センター及び河内地域自治センターがそれぞれ地区市民センターとなり、施設の機構順が整理されたため、同様に生涯学習センターの機構順も整理する。
教育長	説明が終わりましたが、質疑などありますか。(特になし) このとおり決定してよろしいか。(全員了承) それでは、議案第13号を決定いたします。

教育長

次に、報告事項に入ります。

報告第13号 平成29年3月議会一般質問の概要について説明願います。

【説明要旨】

総務担当主幹

- 平成29年3月議会では、共管となったものを含め、30件の質問があった。主なものは以下のとおり。
- 3月2日 渡辺通子議員
- 2 心のバリアフリー教育について
- (2) 仮称みやマイスター制度の創設について
 - ・ 霧島市では、市民同士が褒め合う「キシマイスター認定制度」を実施し、好評を得ており、教育現場でも活用されている。いじめを起こさない人づくりをする土壌として、家庭や地域に褒め合う習慣が広まり、市全体が明るくなるような、「仮称みやマイスター制度」を創設すべきと考えるが所見を伺う。
 - ⇒ いじめの未然防止のためには、互いを尊重する心などを育むことが重要であり、「キシマイスター認定制度」は大変有効であると考えている。本市においては、認め励ます教育に力を入れ、「宮っ子心の教育表彰」や、各学校においては、独自の工夫をしながら互いのよさを認め合う活動を実践している。さらに、家庭教育への支援として、親学出前講座や親学と子どもの情報誌を通して、褒めることの大切さを伝えながら、親子のふれあいや対話の中で生かされるよう取り組んでいる。今後とも、こうした取組を学校、家庭、地域が一体的に進め、互いを認め励ますことが広まっていくよう、いじめを起こさない人づくりに取り組んでいく。(教育長)
- 3月6日 佐々木均議員
- 5 郷土愛を育むために本市ができることについて
 - ・ 餃子は、リーズナブルでバランスのいい食品であり、中身を替えることで、バリエーションも豊富になる。給食に毎月餃子を出すことは、郷土愛を生み出すのに有益だと感じるが、市の見解を伺う。
 - ⇒ 給食に郷土料理や本市ゆかりの料理などを取り入れていくことは、本市の食文化を理解し、郷土愛を育む上で、大変重要であることから、「しもつかれ」など、多様な献立を実施してきたところであり、本市の代表的な料理である「餃子」についても、各学校平均で、年間3回から4回ほど、給食で提供しているところである。給食の献立は、児童生徒の健康増進や食への関心を高めるための工夫など、各学校が実情に応じて決定しているところではあるが、今後、学校に対して、「餃子」を取り入れやすいメニューを積極的に提示し、給食での提供機会を増やせるよう努めていく。(教育長)
 - ・ 学校内で日常流れる曲をジャズ、もしくはジャズアレンジしたものに代えることは、ジャズのまちとしてふさわしく、子どもたちの郷土愛の育成に役に立つと考えるが、見解を伺う。
 - ⇒ 学校生活の中でジャズに触れることは、本市の特色ある文化資源を理解するよい機会となると考える。給食や清掃、下校の時間など各場面に相応しいジャズのラインナップを用意し学校に提供するなど、ジャズを選択しやすい

環境を整えていく。(教育長)

○ 3月6日 金子和義議員

1 市長の政治姿勢について

(6) グローバル化に対応した英語教育について

- ・ 次期学習指導要領では、小学校3・4年から外国語活動、5・6年から英語の教科化が予定され、先日視察したさいたま市は、こうした動きを先取りして独自の英語教育に取り組んでいるが、本市の英語教育の現状と今後の取組について伺う。

⇒ 本市では、独自に「会話科英会話の時間」を小学校1学年から導入し、9年間を通して英語の音声や表現に慣れ親しみ、ALTと直接やりとりする機会の充実を図ってきた。今後は、授業はもとより、休み時間や放課後など、あらゆる時間を活用し、ALTと触れ合い、会話する活動をこれまで以上に取り入れるなどして、すべての児童生徒が外国人に対しても、自信をもって積極的にコミュニケーションを図り、自らの考えを英語で伝えることができる生きた英語力の育成に努めていく。(教育長)

○ 3月6日 金子武蔵議員

2 北西部地域について

(1) 体育施設による地域活性化について

- ・ 北西部地域において整備予定の複合型の総合体育施設について、ビッグイベントに対応できる機能整備を図ることや更なる工夫により、地域住民が長年望んでいる地域活性化の起爆剤になると思うが、見解を伺う。

⇒ 既存施設も含めた施設の役割分担などからプロスポーツの公式戦や全国大会の開催などは難しいと考えるが、地域の活性化にも寄与し、施設整備の効果を最大限に発揮するためにもプロスポーツチームとの連携も含め、スポーツ教室やイベント等の開催など、さまざまな活動が展開されることは重要であると考えており、新年度以降、地域のニーズも踏まえながら、施設整備に向けた取組を進める中で、検討していく。(市長)

○ 3月7日 小平美智雄議員

6 教育行政について

(1) 少人数学級の拡大について

- ・ 小学3年生の35人学級の拡大により、本市の増加学級数の見込みと対応についてどのように取り組むか伺う。習熟度別学習の指導助手等、本市独自の取組に関する対応をどのように検討しているのか伺う。

⇒ 新年度からの小学校第3学年の35人学級の実施に伴い、市全体に12学級の増加を見込んでおり、必要な普通教室については、余裕教室や転用可能な部屋の改修により確保している。また、学級増に伴い新たに必要となる教員については、県は、これまで習熟度別学習などのために本市に配置していた教員を、現在のところ6名程度削減して学級増分に充てることとしているが、学習指導上必要であるため、これまで通りの指導を継続できるよう、市独自の指導助手を配置していく。削減された習熟度別学習などのための教員の

配置と、学級増に伴う施設整備の予算措置については、今後、県に強く要望していく。(教育長)

○ 3月7日 工藤稔行議員

5 公立夜間中学の設置について

・ 本市の義務教育の未就学者と義務教育未修了者はどのくらいいるのか伺う。

⇒ 義務教育未修了者数については、調査対象とした項目がなく把握が困難だが、義務教育未修了者のうち未就学者数については、平成22年の国勢調査によると、924人となっている。(教育長)

・ 本市では、夜間中学で学びたいと希望する人はどのくらいいるのか伺う。

⇒ 本市ではこれまで入学対象者から夜間中学で学びたいという申し出はないが、潜在的な入学ニーズ等を把握するためには、別途、詳細な調査が必要であると考えている。(教育長)

・ 文部科学省の全国都道府県に夜間中学を1つは設置との方針に対し、栃木県では本市こそが夜間中学を設置すべきと考えるが、見解を伺う。

⇒ 本市への夜間中学の設置については、国の方針を踏まえると県が中心となり、県内全域の入学ニーズを把握した上で、県全体として検討を進めていくことが望ましいと考えていることから、県を中心とした検討体制が構築されるよう、法に基づく協議会の設置について、現在、県に働きかけているところであり、今後はさらに、県内自治体とも連携・協力を図りながら、夜間中学にかかる入学希望者の実態把握方法や設置の必要性について検討していく。(教育長)

教育長

このとおり承認してよろしいか。(全員了承)

それでは、報告第13号を承認いたします。

教育長

報告第15号 平成28年度宇都宮市「学習内容定着度調査」及び「学習と生活についてのアンケート」の結果概要について説明願います。

学校教育課長

【説明要旨】

1 「学習内容定着度調査」の結果について

○ 各教科の正答率は、小学校では、2教科の平均正答率が参考値を上回っており、2教科は下回っている。また、中学校では、すべての教科の平均正答率が参考値を上回っている。

○ 教科別に見ると、小学校では、社会が参考値を最も大きく上回り、中学校では、各教科とも約6～9ポイント、参考値を上回っている。

○ 基礎・活用別に見ると、基礎問題よりも活用問題の方が、参考値を大きく上回っている。

2 「学習と生活についてのアンケート」の結果について

○ 「勉強が好き」と回答している児童生徒の割合は、小学生の全ての学年が7割以上となっている。「授業を集中して受けている」は、ほとんどの学年で約90%であるが、「勉強が好き」は、学年が上がるにつれて肯定的に回答した割合が下がる傾向が見られる。

- 「話合いに進んで参加している」「根拠をあげながら話している」と回答した割合は、一部の学年を除いて昨年度を上回っている。
 - 「家庭での学習時間」は、中2を除いて昨年度よりも増加しており、小学校では、本市の学習時間の目安を上回っている。
 - 「学校のきまりやマナーを守っている」と肯定的に回答した割合がほとんどの学年で昨年度を上回っているとともに、90%以上である。
 - 相手の人権を尊重し、思いやりをもつことについて、肯定的に回答した割合は、ほとんどの学年で昨年度を上回っている。
 - 「家の人や先生が自分を認め励ましてくれる」と肯定的に回答した割合は、ほとんどの学年で昨年度を上回っているとともに、85%以上である。
 - 携帯電話やスマートフォンの所持率及び使用時間について、ほとんどの学年で昨年度を上回っている。
- 3 正答率とアンケート結果の一体的分析の結果について
- 学習についての設問では、「自分の考えを根拠をあげて話すことができる」「テストの間違い直しや自分で計画を立てて、家庭学習を行っている」と回答している傾向が見られる。
 - 生活についての設問では、「携帯電話・スマートフォンを持っていない」「夜は決まった時間に寝ている」と回答している傾向が見られる。
 - 時間の使い方についての設問では、「携帯電話・スマートフォンの使用時間、テレビゲーム・パソコンゲームをする時間が短い」と回答している傾向が見られる。
 - 授業への取り組み方については、「先生や友だちの話を、最後まできちんと聞いている。」「授業を集中して受けている。」「授業に必要な学習用具は忘れずに持ってきている。」「先生から指されたら、返事をしている。」などと回答している傾向が見られる。
 - 家庭学習については、「自分で計画を立てて家庭学習に取り組んでいる。」「宿題はきちんとやり、期限までに提出している。」などと回答している傾向が見られる。
- 4 今後の方向性について
- 自校の結果について、正答率の分布の状況や経年比較についてきめ細かな分析を行うなど児童生徒の課題を具体的に把握し、指導や取組の工夫・改善を図る。
 - 児童生徒一人一人の学習の状況を的確に見取り、適切に個別の指導・支援を行う。また、授業の終末では、身に付けるべき基礎・基本を分かりやすく簡潔にまとめるとともに、学んだことを振り返る活動を充実させる。
 - 学校全体の共通理解のもとに宿題の内容や出し方、評価・点検の仕方等を工夫するとともに、家庭と協力した取組も取り入れ、家庭学習の習慣化を図る。
 - 国、県、市の学力調査結果等と併せた一体的な分析を行い、成果につながった実効性の高い取組を推進する。各学校別の分析を行い、状況を把握した上で、学校訪問において指導助言を行う。

○ 学校の学力向上に向けた取組を一層推進するため、平成26～28年度の正答率が上昇傾向にある学校の効果的な取組例を、研修会や学校訪問等において紹介する。

- 教育長
伊藤委員 説明が終わりましたが、質疑などありますか。
国語，算数，理科において，基礎問題の正答率が低かったとのことであり，衝撃を受けている。ぜひ，「今後の方向性」の中で示している取組を進めていただき，その結果も十分検討していただきたい。
- 教育長 これまでも基礎の部分をごどのように伸ばしていくかが課題であった。より一層力を入れて取り組んでいきたい。
- 清島委員 説明にもあったように，基礎の正答率が低いものの，活用の正答率が高くなっている。基礎を無くして活用ができるはずがないのであるから，もう少し問題を良く読み，落ち着いて回答すれば正答率が上がる可能性もあるのではないかと。また，「勉強が好き」という項目への回答率についてであるが，資料では平成27年度の児童と本年度の児童を比較しているが，平成27年度の第2学年と平成28年度の第3学年のように，同じ集団で見ると，回答率が減少していることから，分析の仕方によっては，一概に増加していると評価できないのではないかと。
- 教育長 ご指摘のとおり，小学校第1学年から中学校第3学年まで，肯定的回答割合は減少し続けているのは確かである。この資料は，そういった状況の中でも，前年度と本年度の同学年を比較した時，肯定的回答割合が増加していることを示したものである。
- 大場委員 私も同様に，基礎が出来ずして活用ができることは無いと考えている。もう少し，小学生のうちから，試験問題への取組み方をアドバイスすると，状況が変わるのではないかと感じた。
- 教育長 確かに，参考値と比較すると，本市の児童生徒は基礎問題の正答率が低くなっている。本市の学校教育スタンダードの合言葉でも，「あいさつ・朝食・漢字に計算」を掲げており，基礎の部分が非常に重要であると考えており，今後も徹底していきたい。
- 大場委員 もう一点興味深いと感じたのは，「学習内容定着度調査」と「学校と生活についてのアンケート」の相関についてである。調査において正答率の低いBグループが「地域のお祭りに進んで参加したり，文化や芸術に触れる機会がある」と回答した割合が大きくなっており，相関があると分析されている。学習内容定着度調査での正答率の高さのみで評価はできないのではないかと興味深く感じたところである。
- 教育長 この点について，何か分析をしているか。
- 学校教育課長 ご指摘の部分は，調査で正答率が低いと地域のお祭りに進んで参加するなどの傾向があることは間違いないが，必ずしも逆の説明が正しいとは限らないと考えている。ご指摘のとおり，地域のお祭りに進んで参加したり，文化や芸術に触れる機会の多い児童生徒は，学習以外のものに対して関心が高いのではないかと考えている。
- 山田委員 やはり，小学校の段階で基礎が身につけていないと，中学校になってもつまず

いてしまうものである。今後の取組方針にもあるとおり、基礎が身につくよう継続した取組をお願いしたい。

教育長

近年の調査結果の傾向であるが、中学生の正答率の伸びが良い。これは、小中一貫教育により、小学生のうちから適切な学習習慣を身に付けられている成果ではないかととらえている。今後、小学生の基礎が高まっていけば、中学生の伸びはより一層進むのではないかと考えている。

山田委員

先ほどの説明の中で、「円周を求める問題で円の面積を求める誤答があった」とあったとのことであったが、清島委員ご指摘のように、問題を読み、回答をイメージする指導も必要ではないか。

教育長

このとおり承認してよろしいか。(全員了承)
それでは、報告第15号を承認いたします。

教育長

報告第16号 平成30年宇都宮市成人式について説明願います。

生涯学習課長

【説明要旨】

○ 平成30年に実施する成人式の日程、会場が決まったことから、報告する。今後、本市ホームページや広報紙において周知していく。

教育長

説明が終わりましたが、質疑などありますか。(特になし)
このとおり承認してよろしいか。(全員了承)
それでは、報告第16号を承認いたします。

教育長

その他(1) 平成28年度における全国規模組織等による被表彰校について説明願います。

学校教育課長

【説明要旨】

○ 宝木小学校が「平成28年度子どもの読書活動優秀実践校に対する文部科学大臣表彰」を受賞した。

教育長

説明が終わりましたが、質疑などありますか。(特になし)

教育長

「その他(2)」以下の案件については、資料提供のみですので、後ほどご覧ください。

【公開できる案件の終了】

教育長

これからの議案については非公開の案件であるため、傍聴者等の退席をお願いいたします。

【傍聴者の退席、非公開審議の開始】

協議第1号 平成29年度教育委員会基本方針(案)について

⇒承認

報告第14号 教育行政相談の内容と対応について

⇒承認

教育長

議案第12号は、このあと審議いたしますが、これまでのところ、皆様からご意見等あればお願いいたします。

(特になし)

教育長

以上で議事は終了となりますが、委員の皆様から何かご意見などございますか。

(特になし)

教育長

それでは、事務局から連絡事項をお願いいたします。

事務局

連絡事項説明 (教育企画課長補佐)

● 3月教育委員会等の日程について

- ・ 3月31日(金) 午前8時00分 集合・辞令交付式

● 4月教育委員会等の日程について

- ・ 4月 3日(月) 午前 9時10分 集合(教育委員室)
午前 9時20分 辞令交付式
午前11時40分 教育委員会臨時会
- ・ 4月14日(金) 午前 9時30分 第1回校長会議
- ・ 4月21日(金) 午後 1時30分 教育委員会定例会

教育長

それでは、審議事項に入りますが、議案第12号は人事に関する案件であるため、関係職員以外の退席をお願いします。

(関係職員以外の退席)

議案第12号 職員の人事について

⇒ 決定

【非公開審議の終了】

教育長

以上をもちまして、本日の委員会を閉会といたします。

終了時刻 午後3時30分

署名委員

署名委員
